

学校名 草加市立川柳中学校
所在地 草加市青柳 7-35-1
電話 048-931-5827

1 本校の概要

開 校：昭和 22 年（開校 75 年）
教育目標：「賢く 優しく 逞しく」
学 級 数：15 学級（通常級 13 特別支援学級 2）
生 徒 数：450 名

2 本校の実践

(1) 実践の視点

「自ら本に手を伸ばし、主体的に学ぶ児童・生徒の育成」

- ・読書に親しむ態度や読書週間に係る取組
- ・司書教諭・学校司書などを活用した取組

(2) 実践の概要

ア 図書館での定期的なイベント実施

- ・図書館くじ（6月）
- ・教員のおすすめ本紹介（1学期）
- ・情報委員によるおすすめ本紹介（9月）
- ・読書週間 読書ビンゴ（10月）
- ・おみくじ、本の福袋（1月）
- ・3年生への貸出履歴書作成（3月）
- ・図書館ニュースの作成（通年）



イ 朝読書における学校図書館の活用

毎週火・木の朝読書で、1回につき1クラス、図書館で読書をする。読書は自分の本でも図書館の本でも構わない。

ウ 生徒のリクエスト図書購入

生徒のリクエストを募集し、学校司書と司書教諭で精査した後、購入した。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 学校図書館での定期的なイベント実施

お昼の校内放送、教室での情報委員の周知により、イベント期間は普段より多くの生徒が来館した。また、図書館ニュースに名前やクラスが載っていて喜ぶ生徒がおり、また図書館に行こうと声を掛け合う様子も見られた。

イ 朝読書における学校図書館の活用

普段と異なる場所での読書、さらには本がたくさんあるという環境もあって、教室では見られない様子があった。次年度以降も継続したい。

ウ 学校司書との連携

普段の発注業務、貸出・返却、図書館の飾り付け等に加えて、イベントに関するほとんどの提案・準備を学校司書が行った。空き時間を利用して図書館を訪れ、直接話をする機会ももつことができた。

(2) 課題

ア イベントにおける景品等

イベントを実施する場合、景品を渡すか、その内容はどうかといった点が課題になる。今後も検討しブラッシュアップしていく必要がある。

イ 朝読書における学校図書館の活用

朝読書において、ライトノベルや漫画原作、絵本を読む生徒が多いのが現状である。「読書の本をどう選ぶか」という点を今後の課題とし、今まで以上に学校図書館の活用を進めていく必要がある。

(3) おわりに

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染対策を講じた読書活動を行った。次年度以降はイベントの取捨選択、さらには近年話題に上がっている LGBTQ+や SDGs についても大きく特集ができればと考えている。学校司書との連携をさらに密にすることで、生徒たちが自ら手を伸ばしてくれる図書館を目指したい。